

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(10)番 福山市立旭小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	コミュニケーション能力	やりぬく力	思いやり
○めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	○自ら課題を見つけ、生活経験や学習経験を基に、見通しを持って追究する学び方を身につけている。	○ペア学習・グループ学習・全体交流で相互に話し合う中で、論理的表現力を高めている。	○内的規範(自律)を持ち、学校や地域で場に応じたふさわしい行動ができる。	○友だちのことを思いやりながら自分の役割や責任を果たし、人のために役立つようとしている。

2 授業の現状

ねらいが明確な対話活動は定着してきているが、まだ教師が説明する場面が多く、児童の主体的な学びに至っていない。

転換

3 めざす授業の姿

子どもたちが自ら課題をもち、解決に向けて意欲的に学び合う授業。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
・1時間の授業の中で、 ①教師の待つ時間 ②児童に話させる時間を必ず確保する。また、子ども主体の活発な意見交流になるように書く活動を効果的に取り入れる。 ・カリキュラムマップを活用し、他教科及び領域と結び付けた単元づくりを行う。	○「待つ時間」や「児童に話させる時間」を確保する意識をもち、カリキュラムマップを活用しながら授業を行った。(待つこと 83%、話す時間 91.7%) △書く時間を取り入れることはできていたが、書いたことを発表して思考を止めてしまう児童がいた。友だちの意見を聞き、それに対する考えを伝えながら思考を深めるまでには至っていない。	・学期毎にカリキュラムマップの見直しをし、引き続き効果的に関連付けられるように活用する。 ・単元計画をもとに「教えるところ」「児童が主体で進めるところ」を明確にした授業計画を立てる。 ・子どもたちが考えたいような発問、新たな問いを生むような発問の工夫をする。	・カリキュラムマップを見て教科横断的に授業を進めることができた。 ・「書くことで自分の意見をしっかりとまとめる活動」97%「効果的なペア・グループ・全体交流」64%の肯定的評価であった。児童が考えをもつことはできているが、それを教師が効果的に授業の中で位置づけられるようにすることが課題である。	・1単元や1時間の授業の中で「児童に考えさせる場面」を明確にし、児童が主体的に学べるめあてや、児童の思考を深める発問の工夫を行う。 ・児童の考えをじっくり聞き、切り返し発問等で深めていく。 ・発表・グループトーク・意図的指名を含み、クラス全員が一日一回は自分の考えを発言できるようにする。	①「児童を考えさせる発問」を明確にし、書く活動を取り入れることで90%以上の児童が自分の意見をもつことができた。 ②一人一人の意見をつなぎ、さらに深めるような教師の切り返しやコーディネーターが十分にできていない。 ③発言の場やノート等児童の考えを表現できる場の設定を行った結果「学習したことを使って、自分が伝えたいことをわかりやすく伝えることができました。」の質問に対する肯定的評価が83%になった。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
国語	71.0(+5.0)	82.6
算数	69.0(+1.0)	87.0
		95.7
		100

()は県平均との差

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 23/48	長座体前屈・反復横跳び・50m走の3種目を重点課題とし、長座体前屈では、県平均以上の児童が50%、反復横跳びでは75%、50m走では、41%だった。	○「上体起こし」「反復横とび」「ボール投げ」において、多くの学年で昨年度の県平均を下回っている。今後の取組み課題である。	○外遊びをしない児童が決まっているため、全員が外遊びを30分行うロングタイム休憩を月二回に増やす。また、担任が声掛けを行ったり、クラス遊びの時間をつくったりして、運動する機会を増やす。 ○従来のセット運動に、ダッシュやボール投げを取り入れる日を増やし、敏捷性や筋力を向上させる。
(女子) 25/48			
目標値	平成31年度(令和元年度)においては、県平均以上の項目を70%以上にする。特に、「長座体前屈」「50m走」においては記録が向上するように取組んでいく。		

「基礎・基本」定着状況調査(児童生徒質問紙調査)(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい	90.7
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	83.7
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	93.0
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	86.0

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(3)月末現在
暴力行為	1
不登校	1

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	91.7	8.3
仕事に充実感がある	83.3	16.7

児童生徒アンケート(%)	(2)月実施
授業で考えることが面白い	88.0
自分の考えは、認められている	87.0